

2015年度 第6回

中京大学所蔵国書善本展示会

2015年度第6回中京大学所蔵国書善本展示会を下記の通り開催しています。

普段は名古屋図書館貴重書庫に置かれて一般には公開されていない貴重な図書です。

ぜひご高覧ください。

展示場所： 中京大学名古屋図書館1階

展示期間： 11月9日(月)～11月21日(土)

展示作品

- あづまかがみ
1. 吾妻鏡 …………… 元和寛永中刊 52巻25冊
- あづまかがみ
2. 吾妻鏡 …………… 寛永3年刊 52巻25冊

『吾妻鏡』または『東鑑』（あづまかがみ、あづまかがみ）は、鎌倉時代に成立した日本の歴史書。鎌倉幕府の初代将軍・源頼朝から第6代将軍・宗尊親王まで6代の将軍記という構成で、1180年（治承4年）から1266年（文永3年）までの幕府の事績を編年体で記す。成立時期は鎌倉時代末期の1300年頃、編纂者は幕府中樞の複数の者と見られている。後世に編纂された目録から一般には全52巻（ただし第45巻欠）と言われる。

編纂当時の権力者である北条得宗家の側からの記述であることや、あくまでも編纂当時に残る記録、伝承などからの編纂であることに注意は必要なものの、鎌倉時代研究の前提となる基本史料である

「ウィキペディアより引用」

『吾妻鏡』は、多く印行されたが川瀬一馬『古活字版之研究』、阿部隆一『吾妻鏡寛永影印』によれば、古活字版は次の3種である。

- ① 慶長10年刊伏見版 ② 慶長元和中刊本 ③ 元和末刊本（川瀬氏は寛永中刊本とする。）

今回展示の2点は、この3種の内の2種で、1の吾妻鏡は、③の元和末刊本に相当し、2の吾妻鏡は、②の慶長元和中刊本に相当する。比較しながらご覧ください。

